

# ネイチャーセンターだより 4月号

春国岱の氷は普段の年に比べて早くとけました。顔を出した水面には、子育てのため北へ向かう途中のオオハクチョウやカモの群れがやってきています。鶴居村などで冬を過ごしていたタンチョウも春国岱に帰ってきました。まだ緑に色づいていない春国岱の湿原にタンチョウの白がとても目立ちます。春はもうすぐですね！（H）



## ネイチャーセンターだよりメールによる 配信についてのお願い

通信誌の郵送料削減と省資源を目指し、一部ネイチャーセンターだよりをメールにて（ファイル形式はPDFファイル）配信することにしました。つきましては、今後 e-mail をお持ちの方で、ご協力いただける方にはメールでの配信に切り換えさせていただきたいと思っております。もちろん e-mail をお持ちでない方、また郵送による発送をご希望の方には今後とも郵送にて配信させていただきます。

ご希望される方は下記のアドレスまで、各自のアドレスをお知らせください。ご協力お願い申し上げます。

連絡先： nemu\_nc@marimo.or.jp

## タンチョウイラスト展開催！

【日時】2004年4月13日（火）～4月29日（木）

【会場】春国岱ネイチャーセンター

根室・釧路館内の  
小中学生がタンチョウを  
テーマに描いた作品、  
今年は合計320点  
展示しています。  
タンチョウのユニークな  
イラスト展です。



## 4月・5月のイベント

自然観察入門

春を見つけに、森へ行こう！

### 春のおさんぽウォッチング！

【日時】4月29日（木・祝） 9:30～12:00

悪天候の場合：中止

【対象】どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

【申込】前日までに電話か直接センターへ

【定員】先着20名

【注意】雪解け水あり、長靴がおすすめ！

きびしい冬が終わりを告げ、森のあちこちに春が訪れています。春いちばんに花をさかえるフクジュソウや、森にひびく小鳥たちのさえずりなど、おさんぽ気分ですぐ春をさがしにでかけましょう！



観察

セミナー

タンチョウから見た根室の自然は...？

### ここがすごい！根室の自然

～タンチョウからのメッセージ～

【日時】5月16日（日） 9:30～15:30

悪天候の場合：中止

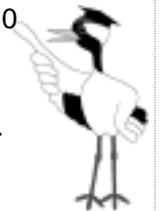
【対象】高校生以上

【申込】前日までに電話か直接センターへ

【定員】先着20名

【注意】お弁当持参、長靴がおすすめ！

根室に生活する私たちにとって、タンチョウはとても身近な存在です。しかし、世界的に見ればとても貴重な鳥です。この鳥が数多く暮らすことができる根室の自然のすばさや秘密を、ゲームや観察を通じて探ります。



イベントの申込み・問い合わせは・・・電話でネイチャーセンターへ！

ネイチャーセンターのイベントは申し込み制になっております。また、イベントによってはみなさんに用意してほしい服装や道具などがありますので、参加を希望される方はかならず受付期間内に電話（0153-25-3047）か、直接ネイチャーセンターのカウンターでお申込みください。

## おもしろ自然コーナー



### スプリング・エフェメラル

「スプリング・エフェメラル」という言葉を聞いたことはありますか？カタクリ、エゾエンゴサク、キクザキイチゲ、ニリンソウなどの春植物をさす言葉です。早春のやわらかな春の白差しが森の雪をとかしはじめると、この春植物達が次々と花を咲かせ、葉をつけ始める前の落葉樹の森に彩をつけていきます。

スプリング・エフェメラル、訳すと「春のはかない命」という意味です。地上に芽を出して、花を咲かせ、姿を消すまでにわずか2ヶ月くらいしかありません。まさに、はかない命です。春植物は新緑がでそい森の中が暗くなるまでのわずかな間に、あわただしく地上のくらしを終えて、あとは地下に養分を蓄えた部分だけを残して、また次の春を待ちます。根室の夏は霧の影響で日射が少ないため、木はだらだらと葉をつけていきます。ですから、この

春植物達にとっては、はかない命を少しでも延命することができるのでは？根室は生活しやすいだろう？と、何の確証もありませんが、勝手に思っています。

春国岱ネイチャーセンター横の自然学習林は、ハルニレ、ミズナラ、オニグルミなどの落葉樹の森で、春植物のかわいらしい花を観察することができます。まず、4月中旬旬にエゾエンゴサクが青色の花を咲かせると、少し遅れてキバナノアマナが森に黄色を加えていきます。見ごろは5月の中旬ぐらいです。6月初旬にはキンボウゲ科アネモネ属の花ニリンソウが可憐な白い花を咲かせます。

今年は昨年にくらべて雪どけが早かったので、スプリング・エフェメラルの開花は昨年よりも早いと思います。4月の中旬にはエゾエンゴサクの一番花が咲くのでは・・・？(H)

ネイチャーセンター

## 森で・NCで みよ、あそぼ

### 今月のネイチャーセンター

#### ネイチャーセンターにも春の別れが...

春は出会いと別れの季節。ネイチャーセンターにも職員の異動があります。根室市の杉本自然保護係長がネイチャーセンターを離れることになりました。ネイチャーセンターの施設の管理など、縁の下の力持ち的な存在で、4年間支えてくれました。また、ネイチャーセンター唯一の女性スタッフの高田令子さんも退職して、自分たちで行っている自然関係の活動に専念することになりました。ネイチャーセンターの手作り展示のほとんどは、令子さんが作成してくれたものです。二人がネイチャーセンターから離れてしまうことはとても寂しいですが、残ったスタッフと、新たにやってくるスタッフで力をあわせて二人の穴をうめて、前に進んでいこうと思います。(H)

#### ポランティアさんの活動紹介をする展示ができました

春国岱NC施設ボランティアグループ「スंक」の活動やスंकのメンバーが集めてきた自然情報を紹介するコーナーができました。これからスंकの活動等紹介していきます。(H)

### 自然のみどころ情報

#### 水辺がにぎやかになってきました

オオハクチョウがわたってきました。昨年に比べると、氷が早くとけて水面は開いているので、オオハクチョウは広く分散しているようです。カモの仲間もやってきています。ヨシガモやヒドリガモ、オナガガモなどが徐々に増えてきました。また、鶴居村や阿寒町で冬を過ごした、タンチョウが帰ってきました。風蓮湖の水辺では4月中旬ぐらいまでオオハクチョウとタンチョウと一緒に観察することができます。(H)



#### 春国岱は？

春国岱の水辺の氷はすっかりとけましたが、春国岱のアカエゾマツのコース上にはまだ雪が残っていますので散策に行かれる方は注意して歩いてください。春国岱の森ではシジュウカラなどの小鳥たちがさえずりはじめ、クマゲラの姿も見かけるようになりました。クマゲラは繁殖の準備に入っているようで、とても大きな木を叩く音や春国岱の森中に響き渡るような鳴き声が聞こえてきます。(H)

こんなのいたよ!

# 春国岱の自然情報板

## クマゲラ

春国岱の広い森にひとつがいのクマゲラが息しています。ですから、なかなかお目にかかる機会は少ないです。しかしこれからの時期は繁殖の準備で、活発に動き回るので、木道付近でも観察される回数が増えます。



## オジロワシ

春国岱で子育てをするオジロワシや、まだ子育てを行わない若いオジロワシが春国岱の森や海岸で見られます。オジロワシが飛び立つとカモやカモメの群れが一斉に飛び立ちます。鳥たちがあわてだしたら、オジロワシが近くを飛んでいるかもしれません。



## オオハクチョウ・カモ類

北へ子育てに向かう途中のオオハクチョウやカモの仲間が風蓮湖・春国岱に立ち寄っています。秋の渡りと違って、春は急いで渡ってしまいます。アマモという水草を食べて旅のエネルギー補給をしています。



オホーツク海

## タンチョウ

鶴居村や阿寒町で冬を過ごしたタンチョウが帰ってきています。春国岱湾の干潟で餌を探っています。これからアサリ漁が始まれば、漁師さんと一緒に貝採りをしているほのぼのとした風景が見られるようになります。



## フクジュソウ

昨年は遅くまで雪が残っていた影響で、フクジュソウの開花は例年に比べて遅かったです。さて今年は? 自然学習林の散策コースで観察できます。



## いまから・これから ~自然“予報”~

自然学習林では3月のおわりごろからフクジュソウが咲き出し、森の中も春がもどってきます。4月にはいと、湿ったところにミズバショウやザゼンソウ、少しかわいたところに水色のエゾエンゴサクや黄色いキバナノアマナ、白いヒメイチゲなど春らしい草花が順に咲き出します。

同じころ、森の中ではシジュウカラのさえずりやアカゲラのドラミング(なわばり宣言のために木をタラタラとたたく)が聞かれるようになります。本格的な子育ては5月からですが、つがいの相手をゲットするために、小鳥のオスたちは声をはりあげ、木をたたき、メスの気を引こうと必死の姿がみられます。

# 海・森・湿原からの手紙 ~ 冬の前野横断トレッキング 当日編 ~

2月1日、原野横断トレッキングの当日です。風はあるものの、天気は快晴でまずは一安心。参加者は2才の女の子連れの家から高校山岳部のグループ、67才の方まで様々です。新聞記者、ボランティアスタッフも含めると総勢31人になりました。雪の上に残されたシカやキツネの足跡を見ながら森へ入っていくと、この日も意外なものを見つけました。氷下待ち網漁の漁師さんが「ベベ」と呼ぶナガガジという魚です。どうして森の中に魚が？ここまで水が運んだのでしょうか？おそらくキツネがカラスの仕業でしょうが、ある人は「おっちょこちよいのオオワシがここで落ちたことしたんですよ！」

森の中ではまた、トドマツに長さ10cmくらいの縦に穴が開けられた穴がありました。春国岱の広い森に1つがいしがないと考えられている、クマゲラの食べあとです。北海道の先住民族、アイヌの人達がこの穴を見て丸木舟を彫ることを考えた、という言い伝えがあるそうですが、なるほどと思わせる

立派な穴です。一方クマゲラが巣穴としてあける丸い穴は、クマゲラが使ったあとは他の鳥やモンガも使います。クマゲラがすめる森は、他の生き物にとっても、すみやすい所なんですね。

森の奥の開けたところでお弁当を食べ、いよいよ湿原の横断です。ここ数日の寒さで氷は少し減った様子で、下見のコースより短い所で湿原を渡ることができました。快晴の青空と、いろんな状態の雪や氷の微妙な白。この対比が何ともきれいで、厳しいけれどきりとした景色を楽しむことができました。11kmを歩き終わった後の、参加者の笑顔が印象的でした。今回の行事のために、1週間で3回春国岱を歩きましたが、全て違った表情の自然に出会えました。なるほど、これはほんとに厳冬期ならではのぜいたくな行事です。来年もやりますが、お申し込みはお早めに！（でも今申し込むのは早過ぎ！）（〇）



## お知らせ

- ・ 春国岱にある2つの木橋のうち、奥にある橋は撤去し、通ることができません。ご注意ください。
- ・ 木道が一部雪解け水などで朽ち、数ヶ所穴があいている部分があります。随時、簡易補修はおこなっていますが、修繕が追いつかない現状です。歩かれるときには足元に十分お気をつけください。

## 10人以上集まったら！ 春国岱ネイチャーセンターの 団体利用のおすすめ

春国岱ネイチャーセンターは団体で楽しくご利用いただけます。たとえば...

春国岱の四季を紹介するスライド上映を見学して、自然についてレクチャーを受けたり(25分)、根室の自然や動物についてさわれる標本やゲームで楽しく学ぶことができたり(20分~1時間)、20名までの自然学習が目的の団体なら、春国岱や学習林で野外での解説を受けたり(1~2時間)、自然やテーマによっては、レンジャーの出前講演なども可能です(要申込・日程調整)。

...学校団体で、子供会で、サークルで、ぜひご利用ください。

\* 利用には申込みが必要です。詳細はネイチャーセンター(25-3047)までお問い合わせください。

## 春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

〒086-0074 根室市東梅 103 番地  
TEL 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570

- ・ 入館無料(双眼鏡無料貸し出しあり)
- ・ 開館時間 4月~9月 9:00~17:00  
10月~3月 9:00~16:30

・ ホームページ

[http://www.marimo.or.jp/nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/nemu_nc/workn/index.html)

・ e-mail : [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

2004.3.発行

## 4月・5月の休館日

\* 毎週水曜日はネイチャーセンター休館日です \*

< 4月 >

休館日: 7日、14日、21日、28日

< 5月 >

休館日: 6日、7日、12日、19日、26日

(6日、7日はゴールデンウィークの振替休館です。)

ゴールデンウィーク中(4/29~5/5)は無休です